

十年後の千本桜に夢を馳せ!!

市内に現存する歴史的価値のある建造物の保存や活用などを模索している「稚内市歴史・まち研究会」(富田伸司会長)主催の「北海道千本桜・植樹会」が去る五月二十日実施されました。

この植樹会は、昭和六年北方の国土防衛をねらいに恵北(幕別)に建設された旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊特別送信所庁舎の敷地(約六万平米)内に、エゾヤマザクラの苗木百本を植えたもの。れんが造りの同庁舎は、旭川以北では最大規模の建物といわれ、まち研究会ではこの歴史的な建造物を何とか活用できないものかと、数年前から調査・研究を開始。毎年、まち研会員やボランティアのメンバーによって、建物内外に集積したゴミや土砂などの除去や周辺の草刈りなど行ってきました。

今回の植樹も周辺環境整備の一環として行われたもので、一年に百本を植え、十年計画で千本の桜を同施設付近から稚内空港までの約五キロに花を咲かせようというものです。また、この植樹は日本で一番遅くに咲く花見会場を通じて地元地域の交流も目指しています。

当日は、心配していた前日の雨も上がり、晴れやかな春日和で、スコップやカマなどを持った子どもから年輩者まで約六十名が参加、一本一本丁寧に植え、作業終了後には全員の集合記念写真の撮影。参加者達は、自ら植えた苗木の成長や



参加者が協力しあいながらの植樹風景

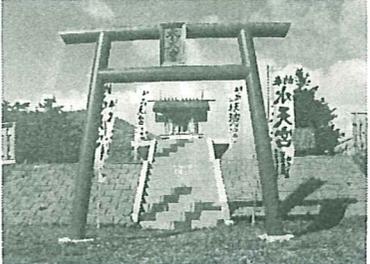
『水』を大切に!!

全国一斉水道週間
(六月一日〜七日)

「水」の大切さを多くの市民に認識・理解してもらおうと、六月一日から七日まで全国一斉に「水道週間」が繰り広げられます。

市内秋ヶ丘浄水場裏側には、水を支配し火を防ぐ神様、そして水の守り神の「水天宮」社殿が建立されています。

この水天宮の御神体は、奈良県にある国宝「宇太水分神社」よりの分神で、昭和三十三年小樽市の「



水の守り神として建立された「水天宮」社殿

将来の開花の話に、花が咲いていました。尚、まち研では会員を募集しています。詳しくは西間(☎〇九〇一九四三三一五一六五)まで。

17年振りの優勝を飾る!!

五月十三日、稚内市体育館で開催された「第40回北部北海道柔道大会」(第25回同少年柔道大会)「第21回同女子柔道大会」には、地元稚内勢をはじめ旭川以北の各名から約百七十名の強者が参加気合の入った激戦が繰り広げられました。

同大会は、旭川以北最大規模を誇る試合であり、名実共に道北のNo1を決定するもの。今大会では管内勢の成績があまりふるわない中、唯一優勝し王座についたのが、高校・一般女子の部に出場した滝沢英子選手(30・稚内柔道連盟所属)で、一回戦シードのあと、川井(浜頓別)を抑え込み、決勝は小川(浜頓別)と一進一退の攻防の末判定で勝利。十七年振りの優勝を飾りました。



一般女子の部優勝の滝沢選手

上川郡美瑛町出身の滝沢選手は、七歳の頃地元柔道スポーツ少年団の指導をしていた伯父の勧めで入団したのが、柔道を始めるキッカケとい、その後本格的に柔道を進もうと旭川工業高校にそして国士館大学体育館に入学、学生時代には全日本学生柔道体重別選手権大会などに出場の猛者であり、現在は稚内商工高校の体育教諭として教鞭を執っています。

クラグでは柔道部の顧問をつとめ、生徒の指導をしながら、自らもこれから開催される「都道府県対抗全日本女子柔道優勝大会」に向け、道代表

話題のスポット

稚内副港市場・屋台村波止場横丁の一角で営業をしている「海のカレー屋さん」は、素人にしては上々の味とお客さんの評判も高い。

同店は、稚内大谷高校のボランティアアクラブのメンバーと商工高校二・三年生が、稚内商工会議所女性会の支援を受け、職業体験の一環として店を切り盛りしているもの。店で働く生徒達は、お袋が作った美味しいカレー一味に負けじと、一生懸命研究を重ね奮闘しています。

営業は観光シーズンまで午前十一時〜午後二時半(オーダーストップ)と午後五時〜七時半(同一メニューは帆立カレー五百円、タコカレー六百円、シーフードカレー九百円、コーヒ(北緯45度)三百円、セットコーヒー百円、ソフトドリ

奇蹟の実話 『フラガール』

昭和40年、エネ革命により閉鎖が鉾のまち。そこをハワイに変えよう起死回生のプロトが持ち上がった。果して常夏の学生するか? オー日は迎えられるの国を常夏の楽園への時を越え語らわの実話。愛と勇気ターテイメントシフラガール」が、日(土)稚内市総合センター大ホールで

として、生徒と一古に汗を流している。ちなみに、十七女子の部優勝者美選手(当時中学

ンク二百円、同店ナド健康ドリンク店員の生徒達は楽しいです。お同士の会話や、フケイションは、社会勉強になります。店で頑張っているの支援も兼ね、市民のご来店ご賞味しく。

さわわ

今年四月中旬オした、犬の美容室G・HOUSE(潮見四丁目32-1-1363)の1片桐亜矢香さん)は、丁寧な仕てくれるので安心犬家のお客さんにも喜ばれています。幼い頃から犬がきだった亜矢香さん。将来のトリマーの夢に向け、市内専ら、札幌専門学校でトリマーとして